

---

# 大きな翼と小さな男の物語

GYU

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

大きな翼と小さな男の物語

### 【Nコード】

N8725C

### 【作者名】

GYU

### 【あらすじ】

未来の地球、それは戦火に包まれる姿しか見えない未来。その未来を打ち破る「大きな翼」と小さな男の物語

## 戦闘1・入隊

「桜庭 冠です！本日を持って第7軍に派遣されました！よろしく  
お願いします！」

俺の名前は桜庭冠、18歳。

今日を持って第7軍に派遣されてきた。

この国では18歳になると、必ず軍に派遣される。

第2文明「A S I」と戦う為だ。いまや世界中、この騒ぎだ。

「A S I」は高度な文明力でこの地球から俺たち、第一文明を抹殺  
する気だ。

ここ7年間戦闘は無かったが、1週間前に激しい奇襲があった。

その事件を「東京大襲撃」という。

そして、それに対抗した第一文明のお偉いさん方がこの武装集団「  
D O G」を作って、そこで俺がここに派遣されてきたっていう事。

「ここでは僕が指揮を取るんだ。よろしく。」

緑色の帽子を被った若い人が言った。なかなかゴツイ。

「あそこに居るのが、律子さん。」

「よろしく！」

髪の色い、なかなかかわいい女の子だった。

「そしてあその人が五代君。メカニック担当だ。」

「いい面構えだ堂々としている・・・気に入った！お前今日から  
俺の弟子だ！」

「ハ、ハア・・・」

なんだか分からないけどいい人っぽい。

「で、僕が胴各！この軍の隊長だよ。」

「はい！皆さんよろしくお願いします！」

ビービービー！

「発進か・・・まあ桜庭君はここで見てて。初心者にはちょいと  
きつい。」

「だったら五代さんの手伝いをします。その方がいいでしょう。」

「えらい！キミイ、なかなか良い心がまえだねえ。」

「まあ律子の入隊の時よりはいいな。」

五代さんが律子さんをちやかした。

「へえ、五代さん。死にたいんだあ。」

「勘弁してくれよ。」

あのー、なってるのですが、ブザー……

「ちやかしてる暇があるならとっとと発進しますよ律子さん。」

「あつ、ハイ」

「じゃあ俺について来い！桜庭！」

「はい！」

こうして俺の一回目の戦闘は、ゆるい空気のままスタートした。この後目の前で起こることがこの雰囲気が無かったかのように見えることになるとは、知らず……

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8725c/>

---

大きな翼と小さな男の物語

2010年11月23日17時38分発行